第3回柏市産業振興会議における指摘事項と対応方針（案）

(1) 1章「柏市産業振興戦略ビジョンとは」および2章「現状と課題」について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
1-1	○32ページのところでAIセンターの本格稼働とあるが、今後5年間に何が起こるのかというところ、AIで止まるのではなく、そこから先に起ころうとしているか入れたほうが良い（原田委員）	⇒第2章「柏市産業の状況とTOPICS」において「①先端研究施設・連携拠点の集積」という項目を追加。	P.15
1-2	○17ページ、柏の葉キャンパスが製造業に分類されているのは違和感がある（後藤委員）		
1-3	○戦略とビジョンがどういう位置関係にあるのか、どの部分はこれらのビジョンが担って、どの部分は戦略の方が担うのか、というような整理が必要（後藤委員）	⇒本ビジョンは柏セントラルグランドデザイン、柏の葉新産業創造ビジョンと連携を図りながら、策定・実施するものとする。	P.1
1-4	○経産省の関東局もAI拠点の設置に関する事業として周辺産業の活性化についての事業を既にやっているの、それも書いた方がよい（後藤委員）	⇒経済産業省 関東経済産業局の取組について追記した。	P.12

(2) 3章「柏市の強みを踏まえた将来の展望について」および4章「各施策の取組」について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
2-1	○人材育成の施策を見ると就労とか事業の継続性とかそっちの方の話にいつてしまっているの、先端技術を取り入れ、それを啓発していくというようなイメージがあるとよい（森会長） ○45ページの人材育成の施策の内容が創業する人に対する支援というものが多。既存の産業、ものづくりとか農業とか、そういったものに対してAIをどう若い人たちに伝えていくか、それをバックアップするような施策があるとよい（後藤委員）	⇒「4-1 市内産業の成長と発展を支えるヒト・モノ・カネ・情報面での基盤づくり」の今後の検討事業例②にて、既存事業者に向けた先端技術導入をサポートする施策を追加した。	P.49
2-2	○43ページ、「柏市の特産品の認定制度」を「ふるさと産品認定制度」と文言を変えてほしい（中屋委員）	⇒「柏市の特産品の認定制度」を「ふるさと産品認定制度」へ変更した。	P.47

(3) 5章「計画の推進と効果測定について」および6章「各種計画との連携について」について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
3-1	○具体的な指標について、目標①の中に企業誘致数が入っていて、目標③の中に起業数とかが入っている。この整理が、どういう関連性があるかというところがちょっと分かり辛い（後藤委員）	⇒1 目標①から③（P. 37）と、基本戦略（P. 38）の位置づけを整理	
3-2	○柏の葉で企業誘致の前段階みたいな形で今後実証実験をプロジェクトとして AI 関連も含めてやっていきたいと思っているので、実証実験のプロジェクトの実施数とかそういうのも入れるといい。その実証実験に参加した企業数となると既に大分数が挙がってきているので、誘致に向けた一つの前段階の指標として入れてもいいのかなと思った（後藤委員）	2 具体的な指標（目標値）は、関連計画における指標値との整合性をはかりながら、実施事業（P. 40～P. 50）ごとに設定。	
3-3	○企業誘致数で言うと年間に誘致できているのが3件とか、何年もかけてやった件数が結局一桁だったとかそういうのだと、せっかくやっていることが見えづらい。後藤委員からご指摘いただいたような社会実験のことでいいと思うし、誘致のための展示や会議の回数など、そこに向けてこういう努力をしました、というのが見えるような数値を設定したほうがいい（伏野委員）		
3-4	○目標③の雇用者数はどんなことをイメージしているのか分かりづらい。就労支援とか人材センターで新たに就労した人の数、新しいフロアの部分だけを捉えようとしているのか、それともストックで全体の就労者数、柏で働く人が増えているのかいないのかが見える数値にするのか、その辺りのことは考える必要がある（伏野委員）		
3-5	○3つの目標と戦略の関係性、どれがどれにぶら下がっているのかというのを明確にすると良い。43ページ以降に書いてある事業を実施することで何の数値が上がるのかというのがこの指標の部分に出てくると、これらの事業の評価がしっかりできる（後藤委員）	⇒目標と基本戦略の対応について追記した。	P.37, 38

(4) その他について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針(案)	該当
4-1	○ビジョンの中に観光でも使えるような事例が入っていると、一般の人が見た時に自分たちにもひょっとしたら使えるかなと思える(森会長) ○塚や屋敷跡など歴史のあるものがたくさん沼南地区にあり、観光に利用できると思うので是非入れて欲しい(荒木委員)		
4-2	○46 ページの「産業を支えるまちづくりの推進」に、今までやってきた事業+女性やシニア層が働きやすい環境や機会の創出というのをもう少し追加してほしい。高齢になった方に働いてもらうとか、女性にいろんなところで活躍していただくとか、産業ビジョンに入れるには適切でないかもしれないが、これからとても大切なことだと思うので、そういうような視点が入るといい(森会長)	⇒文言を追加。	P.50
4-3	○39 ページ戦略 2 の実施事業のひとつに新産業創造部会を入れていただいているが、この中の取組で柏の葉 IoT ビジネス共創ラボというのをやっており、柏市さんに運営協力という形で市庁舎の上にアンテナを建てていただいている。全国的に見てもとても画期的な取組で、それがロールモデルになって埼玉県でも是非やろうということになって結構広がっているので、実績として挙げていただいてもいいかと思う(後藤委員)	⇒第2章「柏市産業の状況と TOPICS」の「①先端研究施設・連携拠点の集積」において、柏の葉新産業創造部会や柏の葉 IoT ビジネス共創ラボについて紹介した。	P.15-16
4-4	○43 ページの「6 次化産業」という言葉について、ここに「地域ブランド創出および6次産業化の促進」とあるが、これは柏型の6次産業化か、新6次産業化かという、そういう言葉を入れてみたほうが「柏がこういうことを考えて6次産業化するんだ」とそう捉えてもらえるのかなと感じた(染谷委員)	⇒6次産業化を促進しながら地域ブランドの創出を図るよう表現を修正。	P.47
4-5	○「マーケティングリサーチャー事業」の名称に違和感がある。職業としての名前が必要であれば「マーケター」が適切では? 特にこの名前じゃなければいけないということでないのであれば検討してほしい(吉田副会長) ○事業の名前がそのまま挙がっていると思うのでこのままでいいし、	⇒資料編に用語解説の欄を設け、マーケティングリサーチャー事業について解説した	P.100

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
	どういう趣旨の事業なのかという解説をいれていただけると一般の人にも分かりやすい（森会長）		
4-6	○17 ページに柏の葉の国際キャンパスタウン構想が出ているが、県・市・大学など、主体はどこがやっていて、どういう構成になっていると書いていただけると分かりやすいのかなと思う（吉田副会長）	⇒第2章「柏市産業の状況と TOPICS」の「①先端研究施設・連携拠点の集積」にて、実施主体等を整理した。	P.15-16

（以 上）